

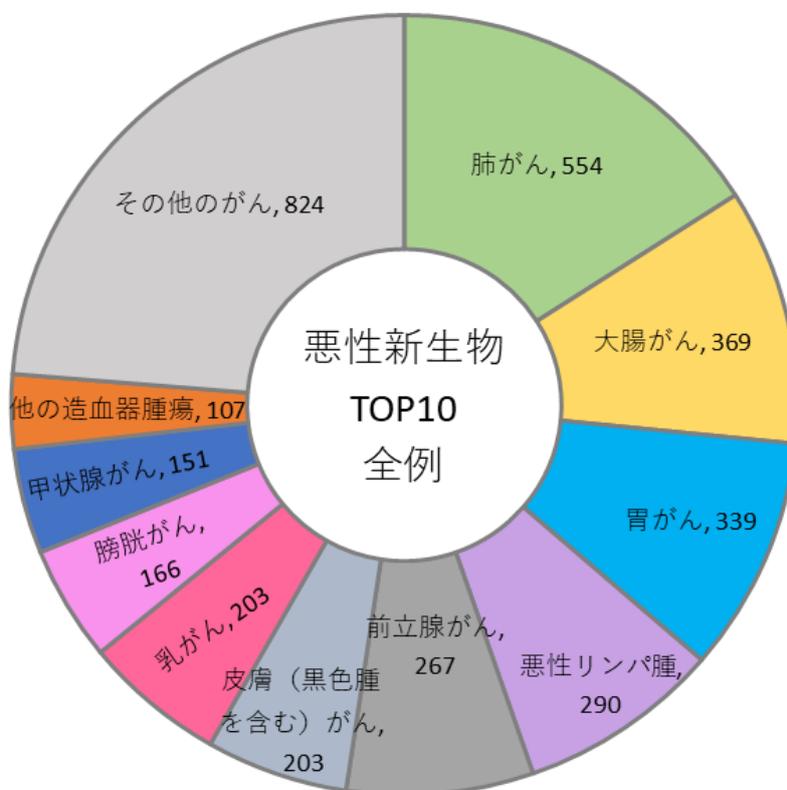
■ 登録件数（有効データ件数）

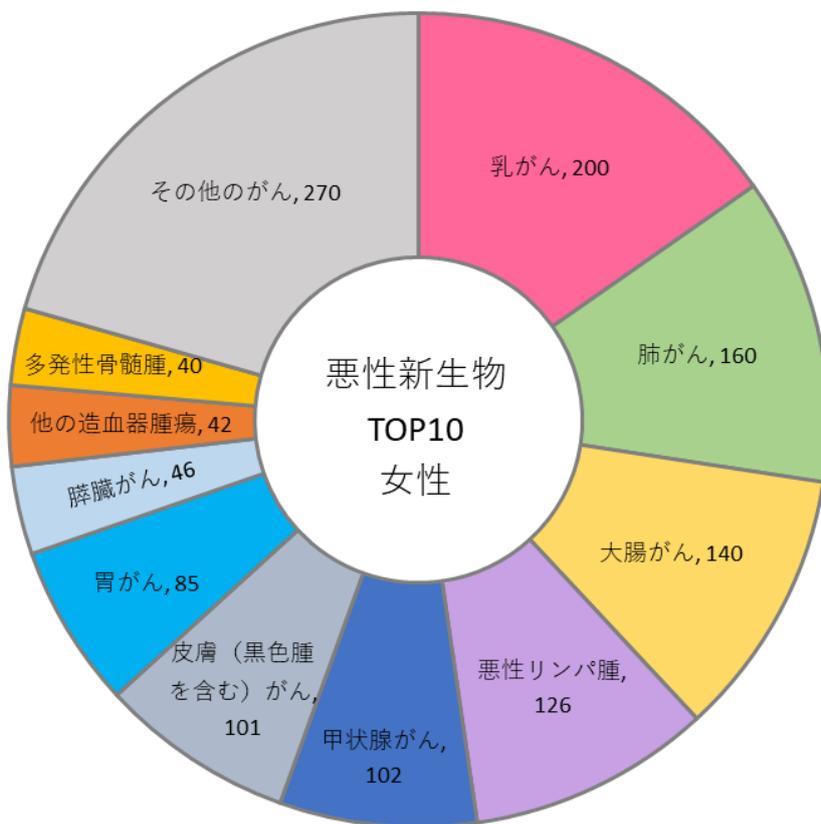
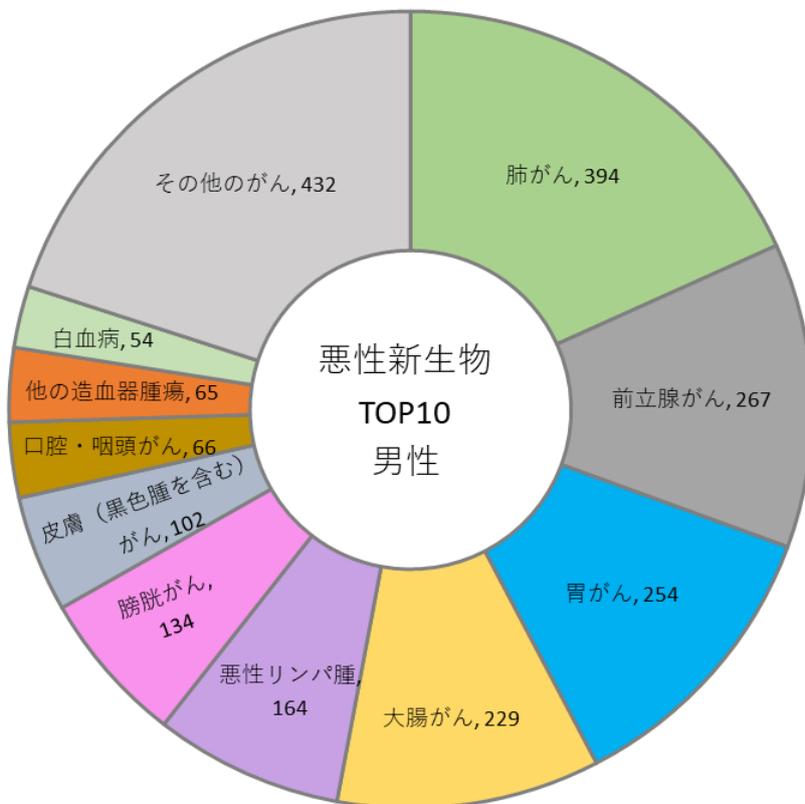
	2018年	2019年	2020年	合計
全がん	1,134	1,171	1,168	3,473
肺がん	171	188	195	554
胃がん	107	124	108	339
大腸がん	128	117	124	369
乳がん	59	44	100	203
肝がん	18	11	19	48
その他のがん	651	687	622	1,960

がん登録室では発足以来、毎年1000例以上のがん患者さんの医療情報を登録しています。

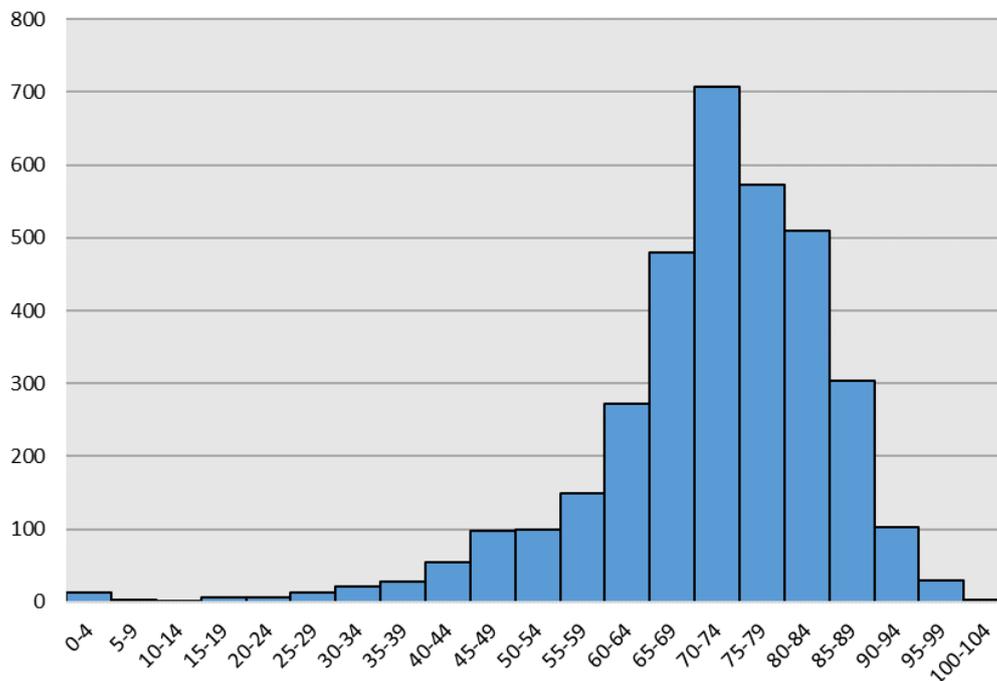
■ 悪性新生物トップ10

がんの部位別に登録症例数をみると、岡山医療センターでは肺がん、胃がん、大腸がん、前立腺がん、悪性リンパ腫が多くを占めています。ただ、これらの部位の割合は必ずしも岡山県内のがん患者さんの割合を反映しているものではないことに注意が必要です。



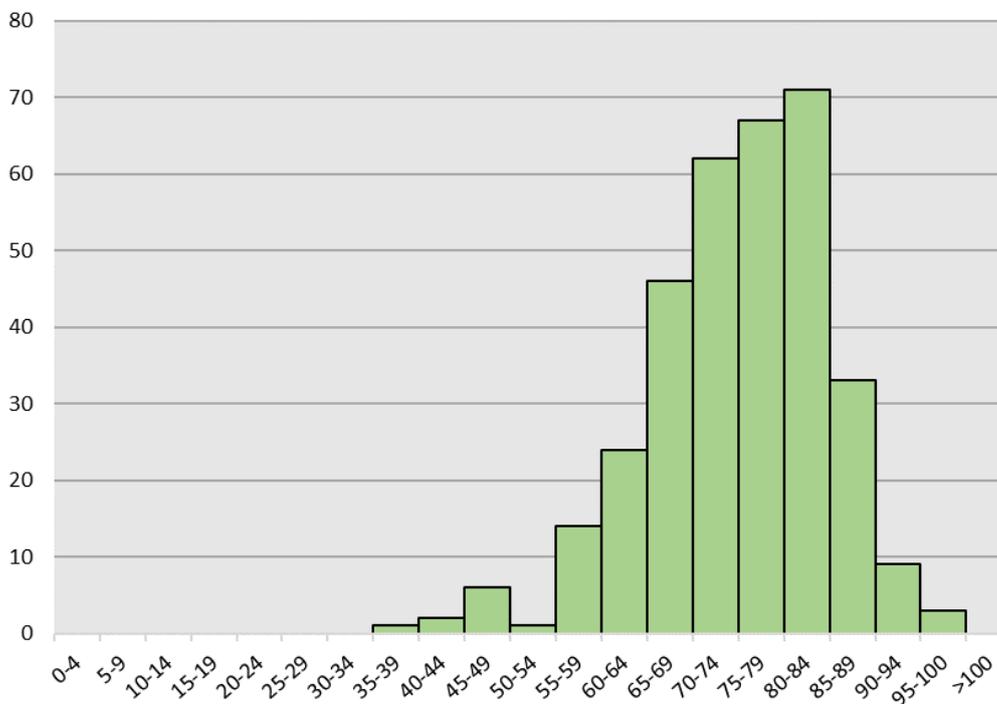


■ 年齢分布



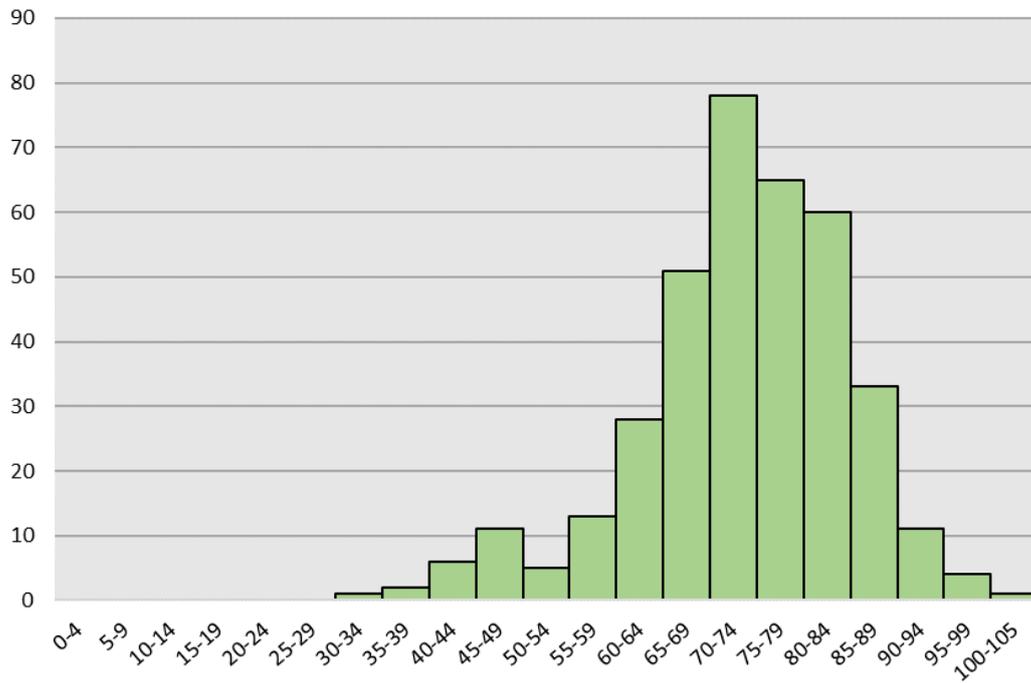
全がんの年齢分布

(年齢中央値 73 歳、年齢の平均値±標準偏差 71.3±13.4)

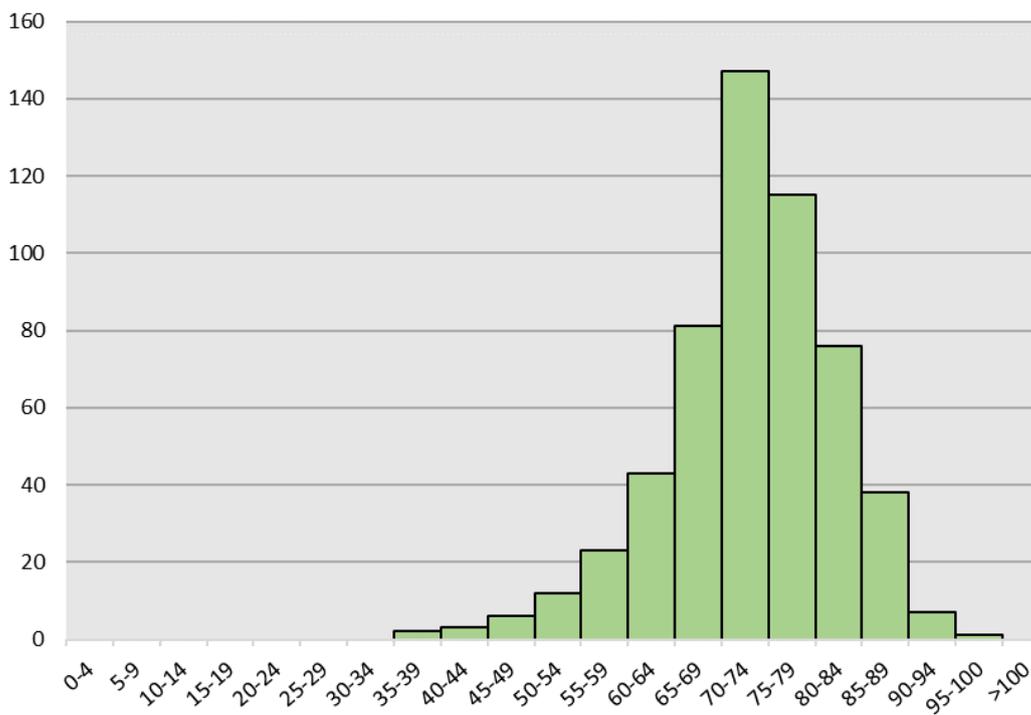


胃がんの年齢分布

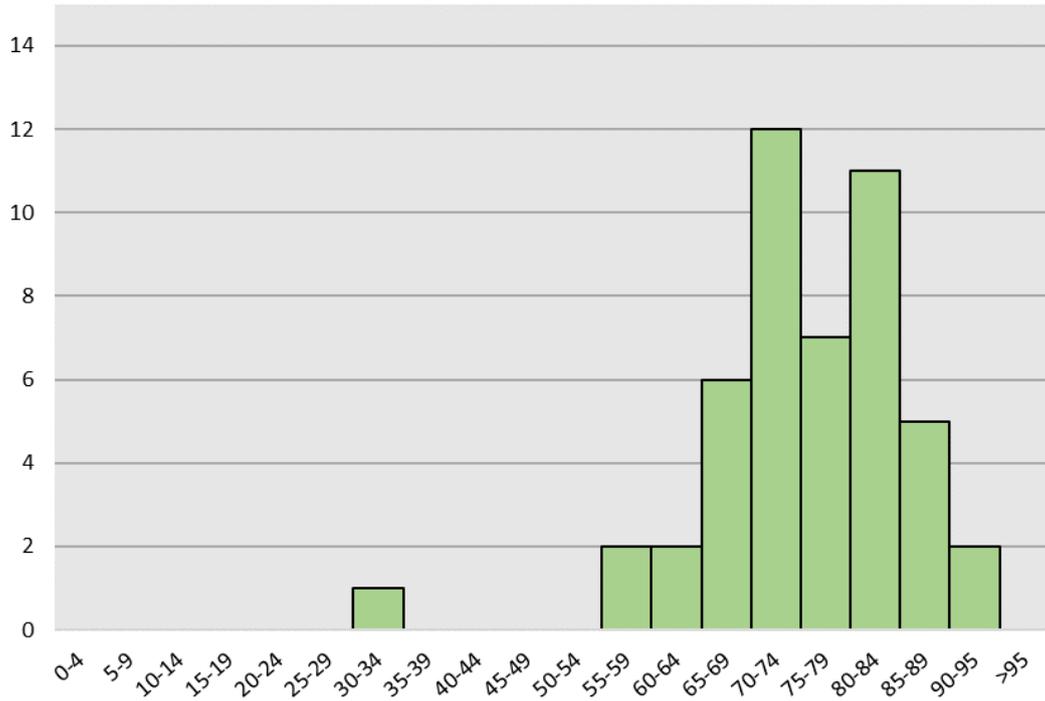
(年齢中央値 75 歳、年齢の平均値±標準偏差 74.4±9.8)



大腸がんの年齢分布  
 (年齢中央値 74 歳、年齢の平均値±標準偏差 72.9±11.2)

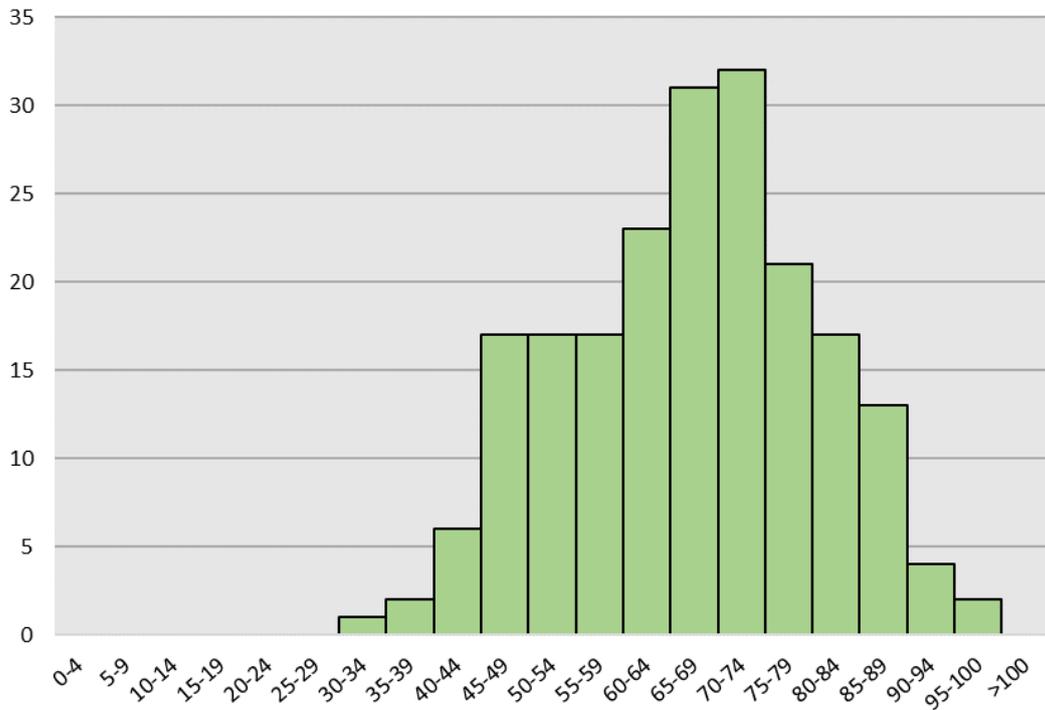


肺がんの年齢分布  
 (年齢中央値 73 歳、年齢の平均値±標準偏差 72.5±9.2)



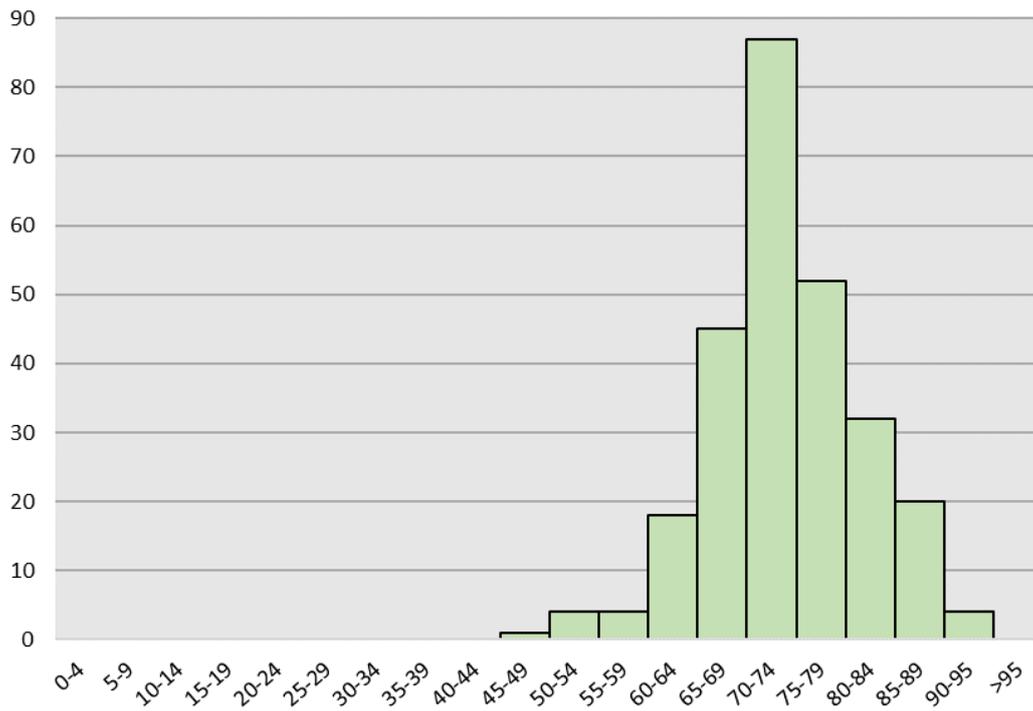
肝臓がんの年齢分布

(年齢中央値 76 歳、年齢の平均値±標準偏差 75.0±10.4)

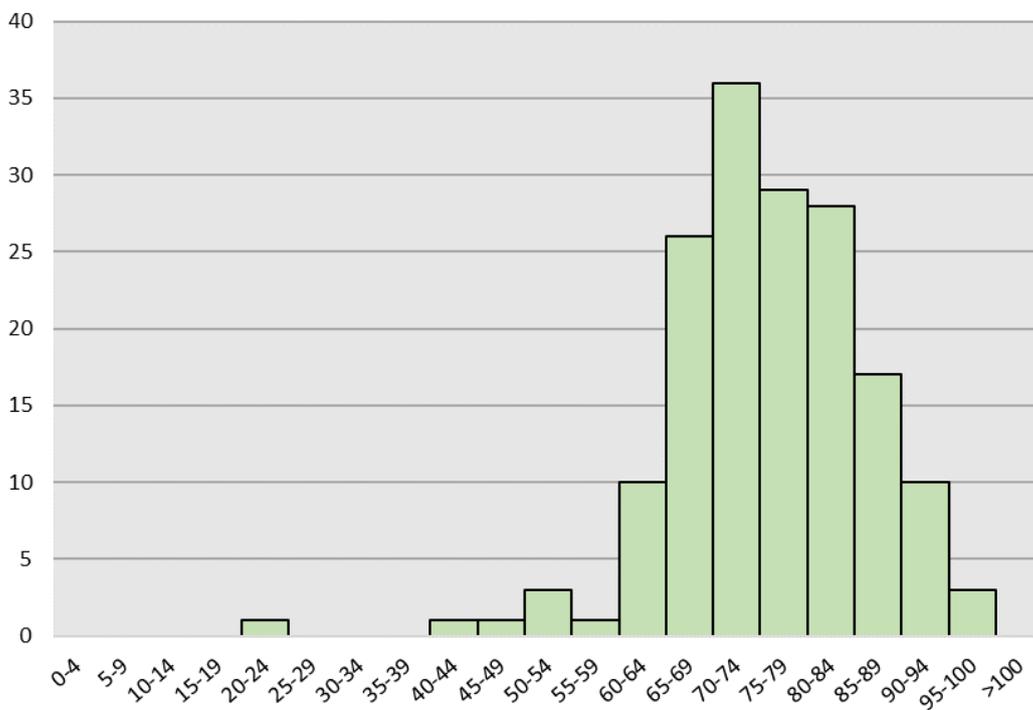


乳がんの年齢分布

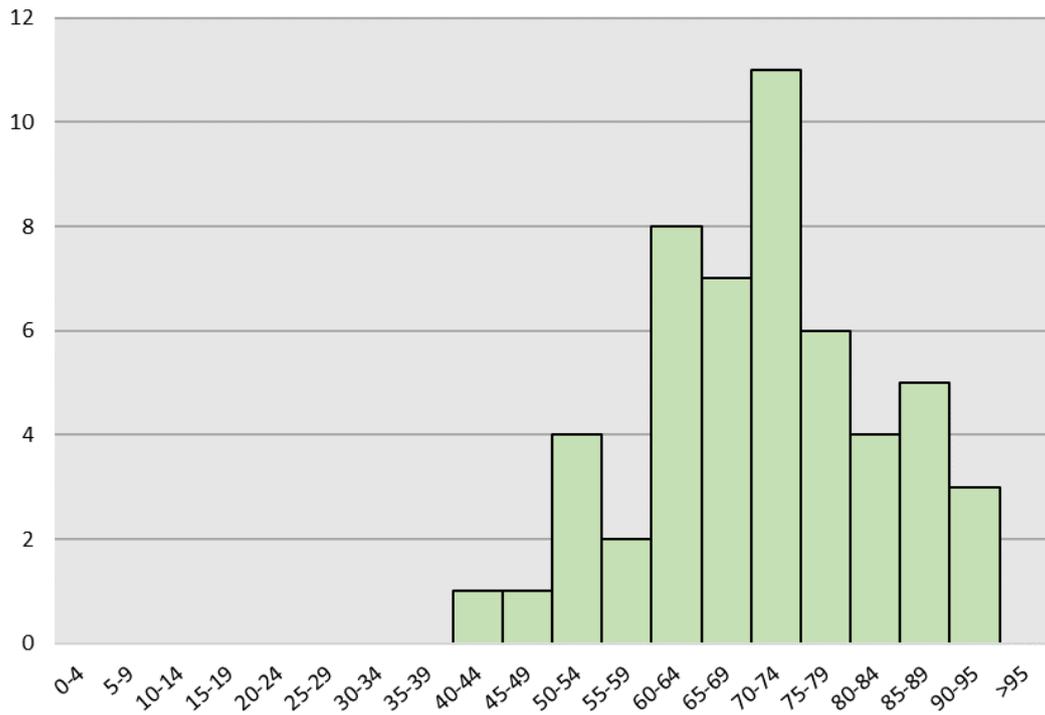
(年齢中央値 67 歳、年齢の平均値±標準偏差 66.5±13.2)



前立腺がんの年齢分布  
 (年齢中央値 73 歳、年齢の平均値±標準偏差 73.4±7.7)

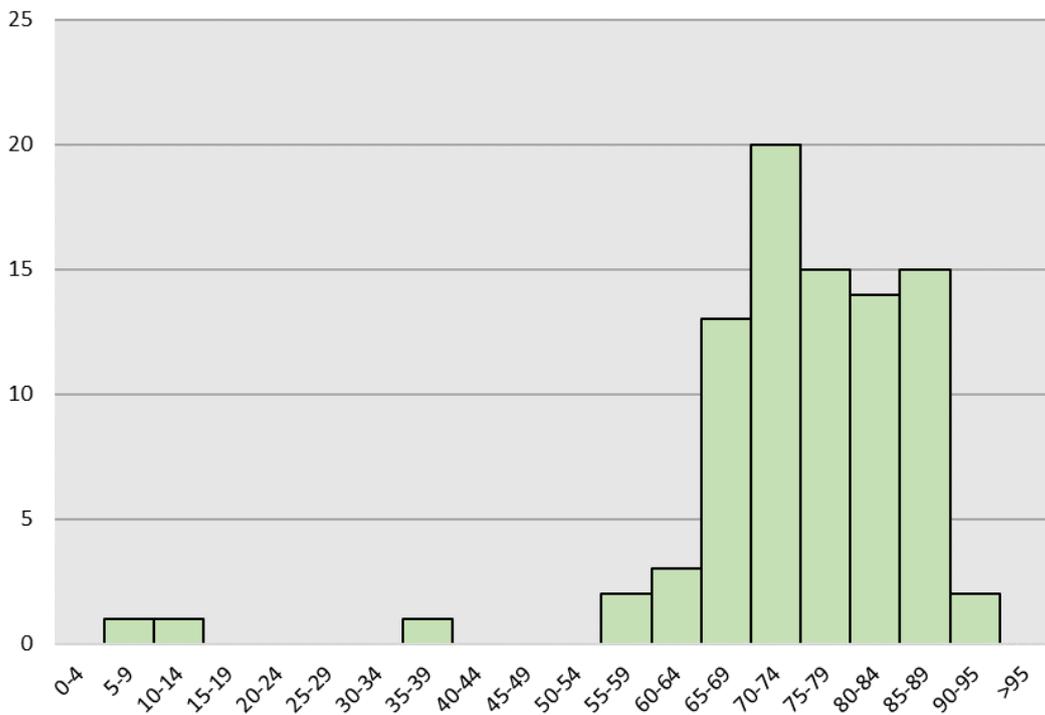


膀胱がんの年齢分布  
 (年齢中央値 75.5 歳、年齢の平均値±標準偏差 75.2±10.6)



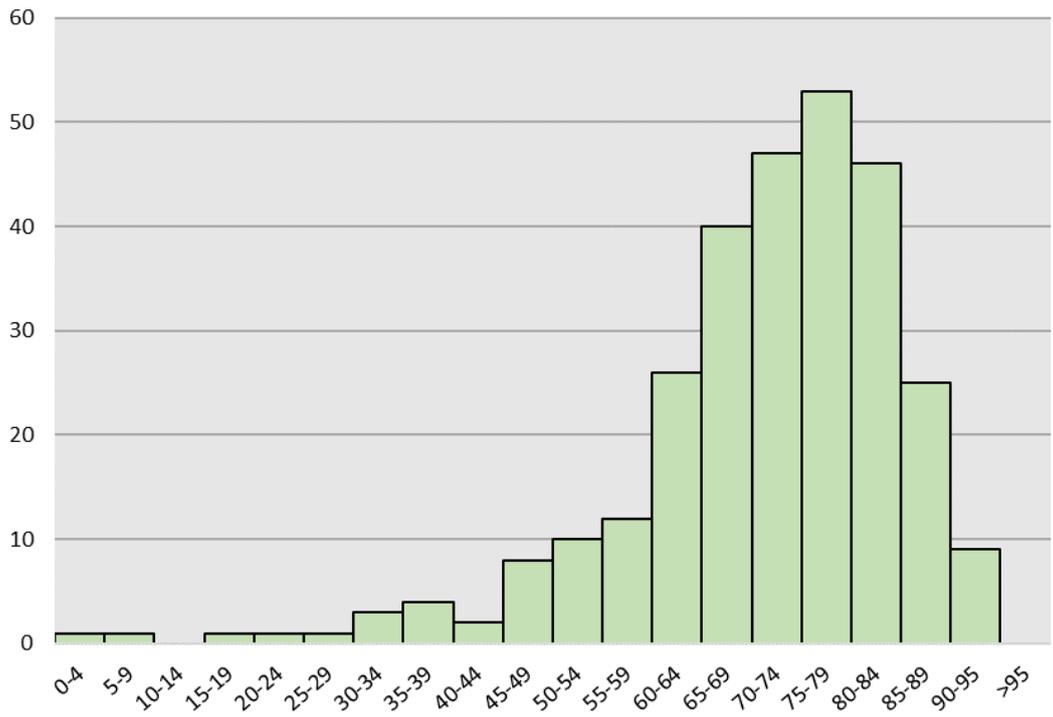
食道がんの年齢分布

(年齢中央値 71.5 歳、年齢の平均値±標準偏差 70.4±11.7)



膵臓がんの年齢分布

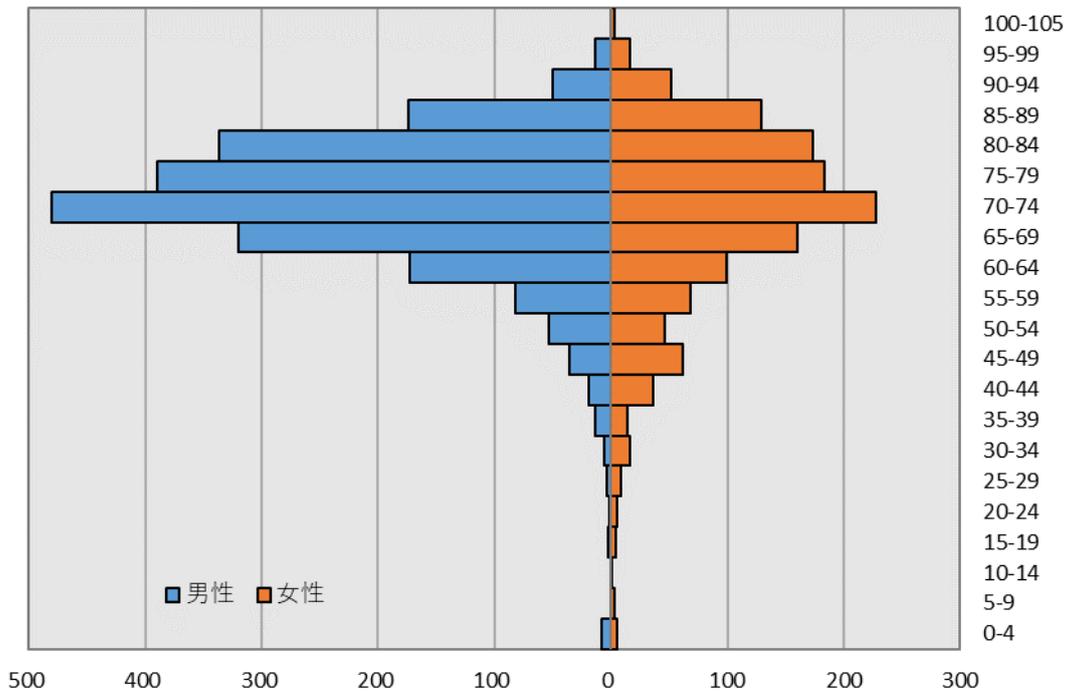
(年齢中央値 75 歳、年齢の平均値±標準偏差 74.2±13.4)



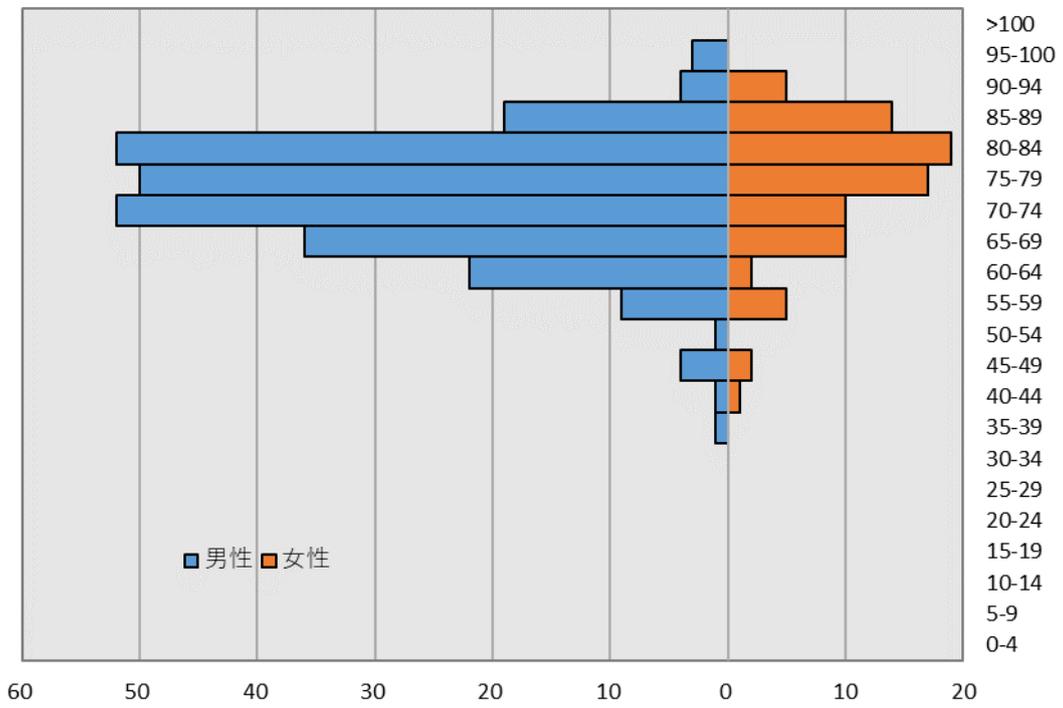
悪性リンパ腫の年齢分布

(年齢中央値 72 歳、年齢の平均値±標準偏差 70.8±14.1)

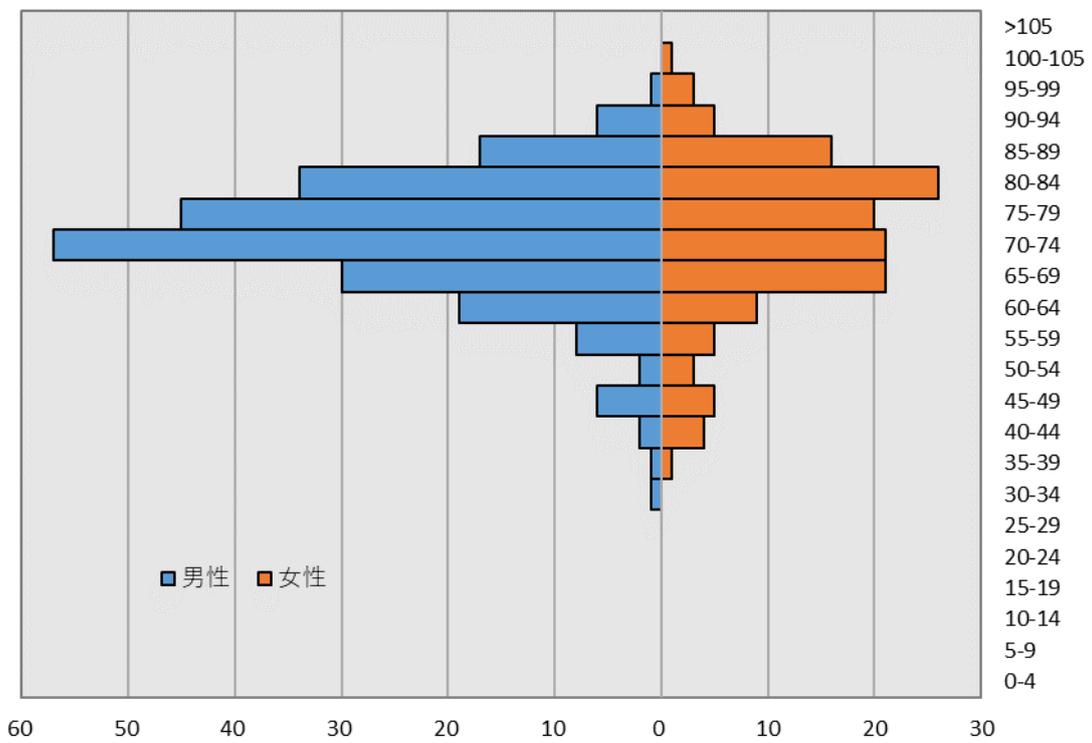
■ 男女別年齢分布



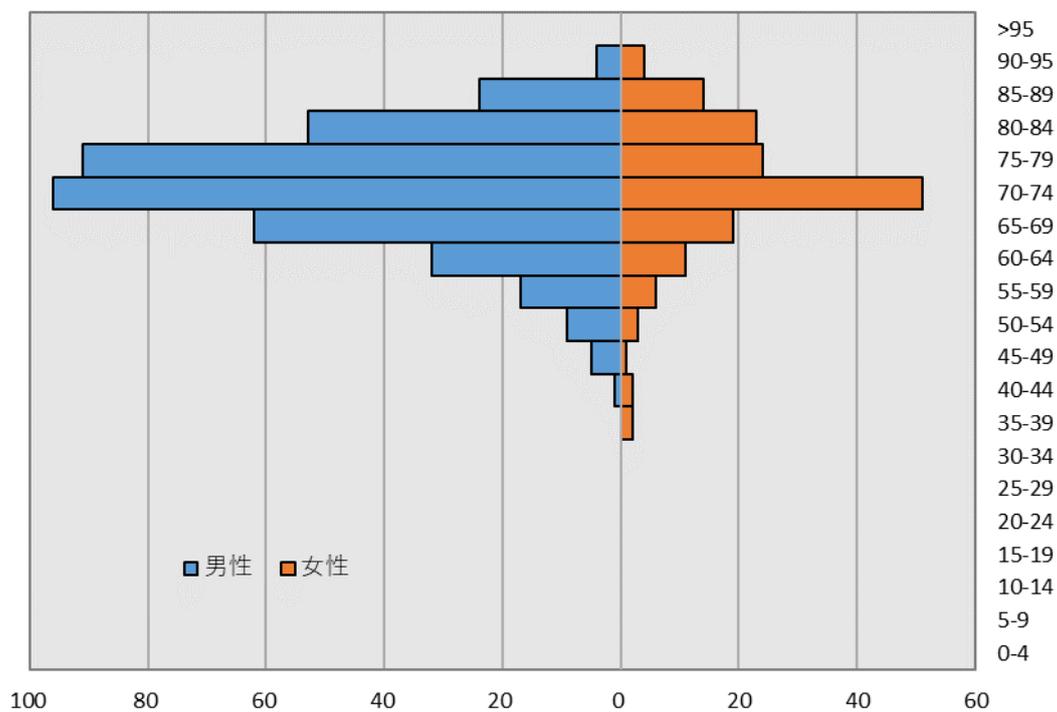
全がんの男女別年齢分布



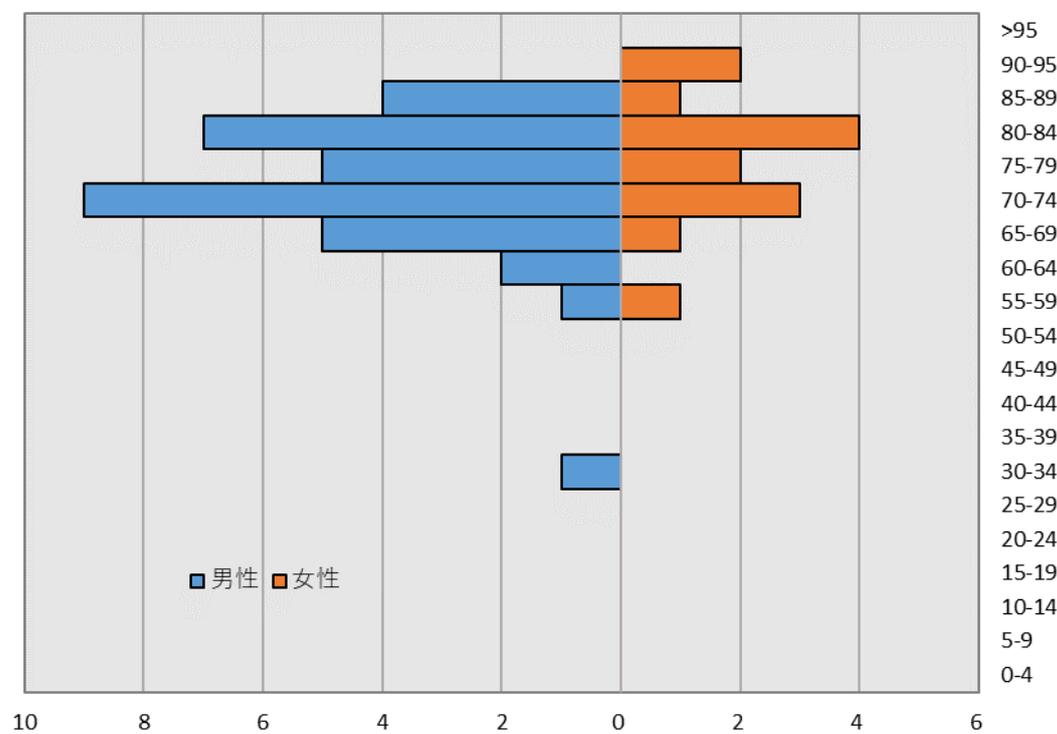
胃がんの男女別年齢分布



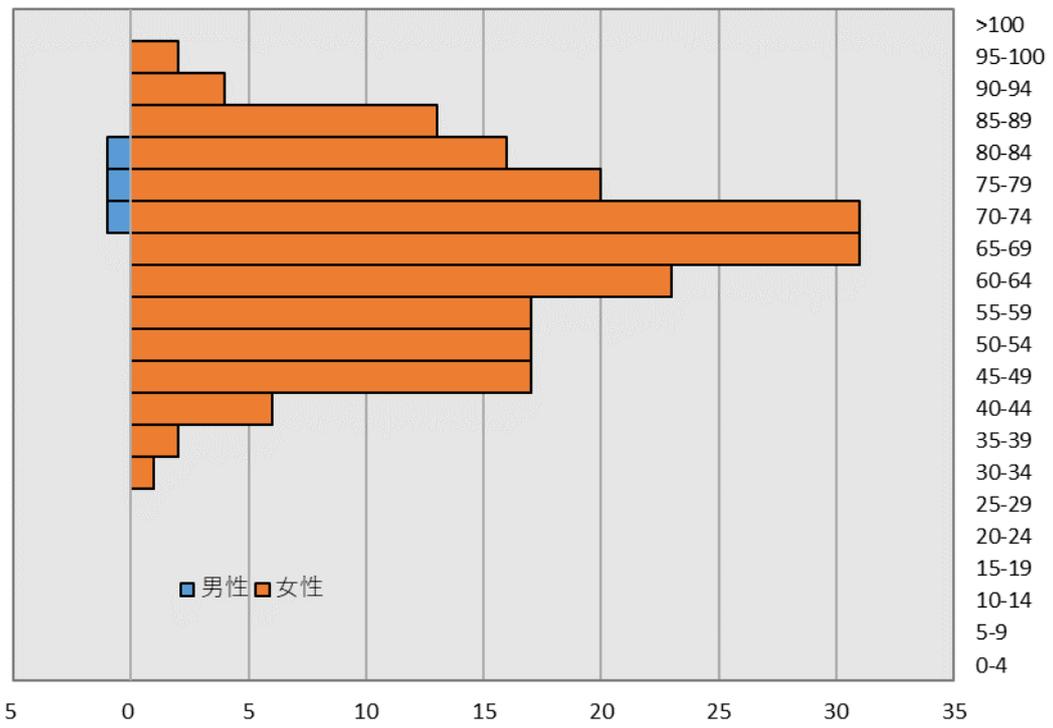
大腸がんの男女別年齢分布



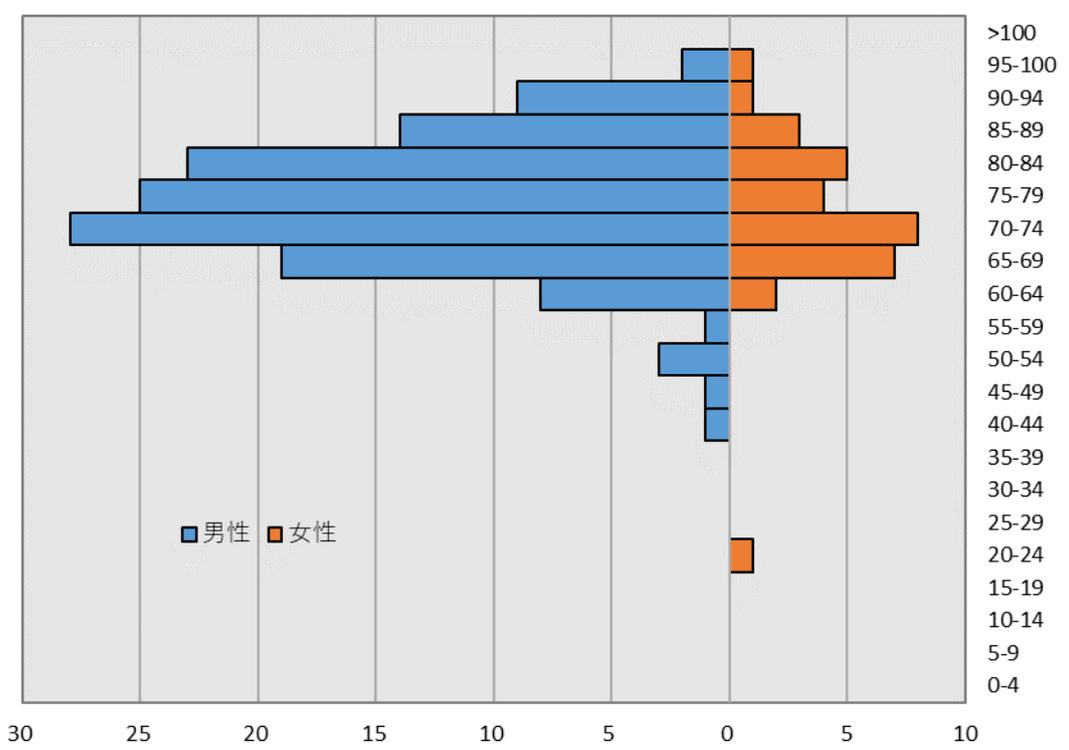
肺がんの男女別年齢分布



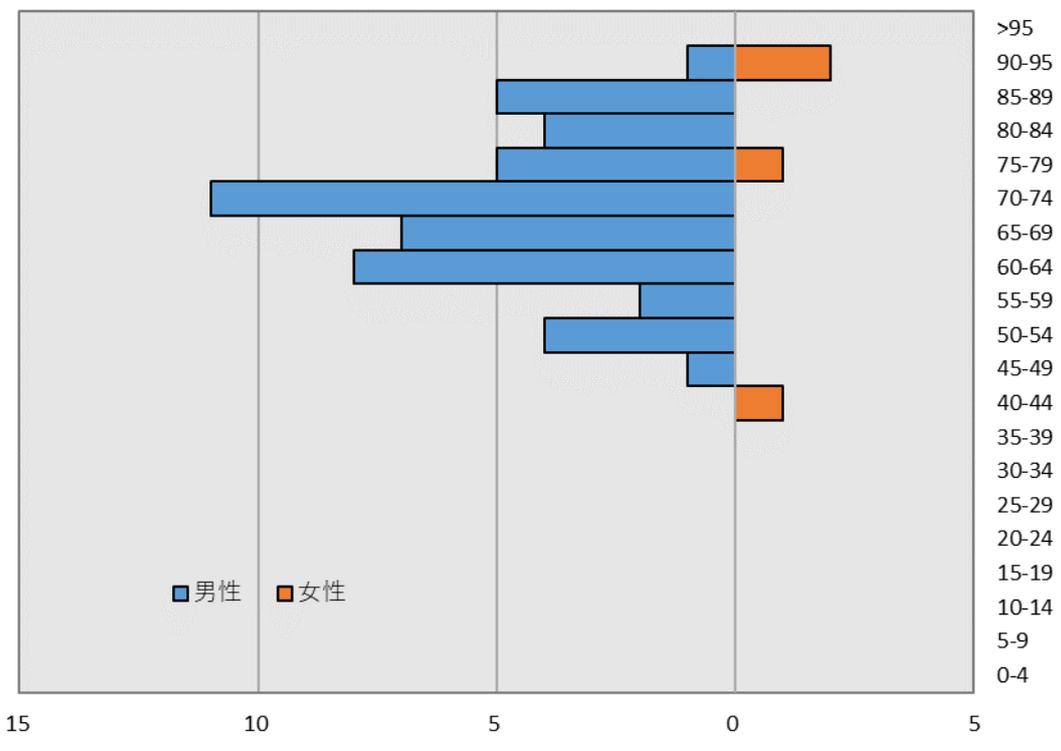
肝臓がんの男女別年齢分布



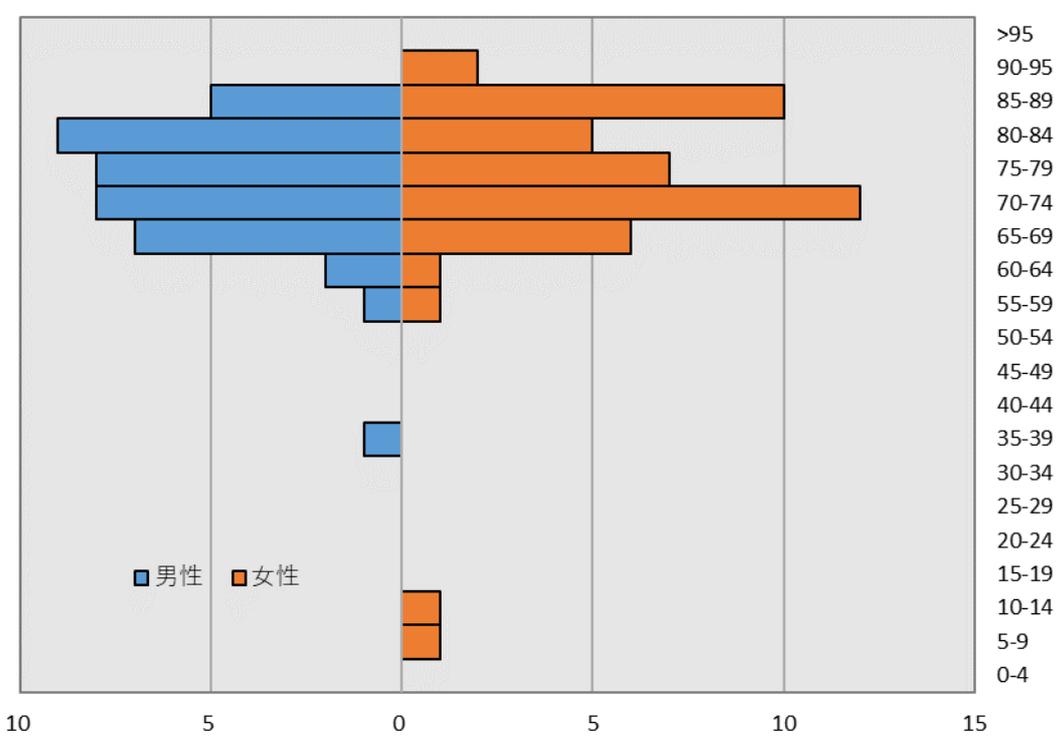
乳がんの男女別年齢分布



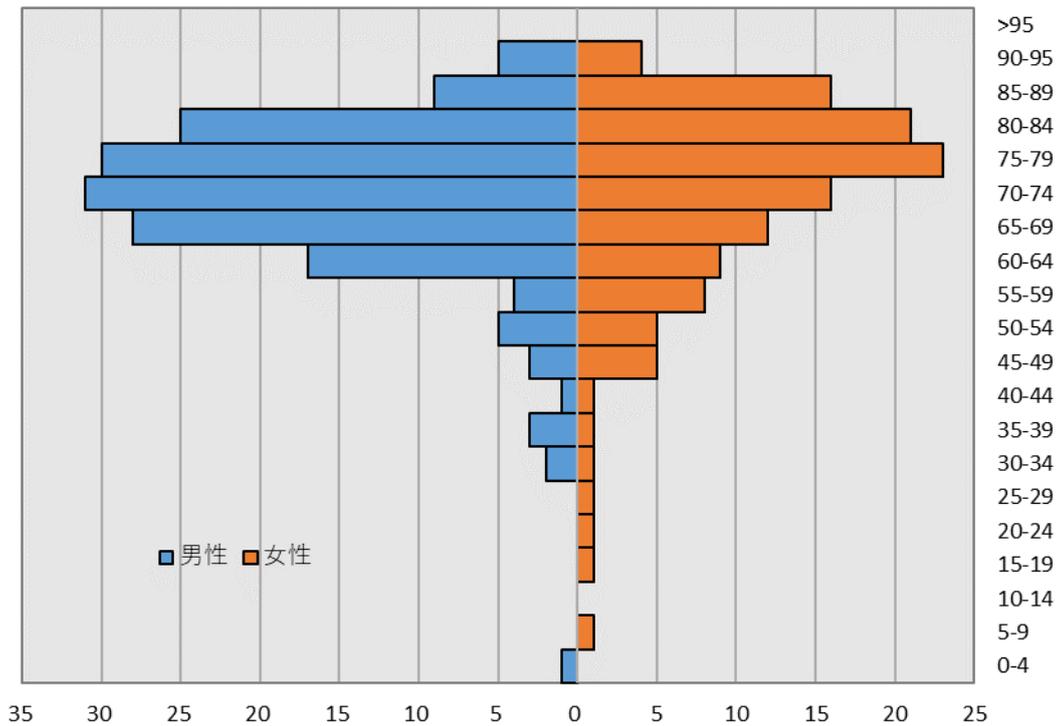
膀胱がんの男女別年齢分布



食道がんの男女別年齢分布



膵臓がんの男女別年齢分布



悪性リンパ腫の男女別年齢分布

■ 病期分類 (ステージ分類)

(1) UICC (国際対がん連合) の TNM 分類による病期分類 (ステージ分類)

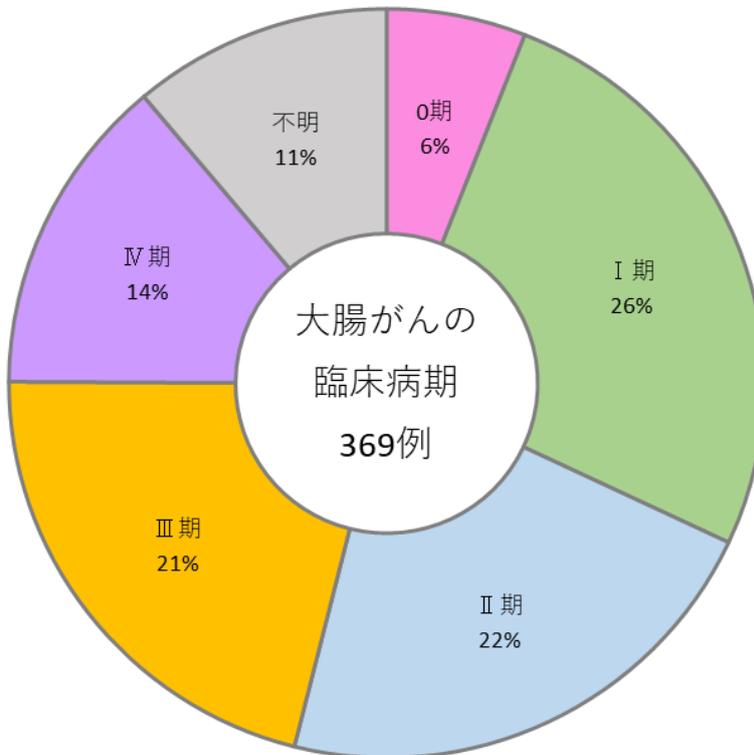
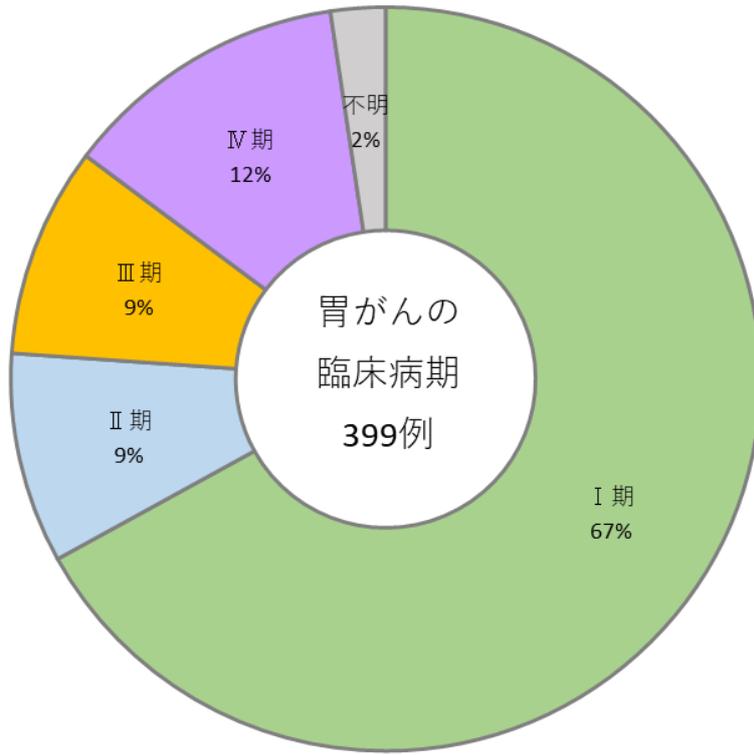
腫瘍の大きさ (T)、リンパ節転移の拡がり (N)、遠隔転移の有無 (M) の3者の組み合わせによりがんの進行度を決定します。0期~IV期に分類され、数字が大きいほどがんが進行していることを示します。UICCによる病期分類には、治療開始前の診断時にがんの進行具合を分類する臨床病期と、手術でがんがどこまで進んでいたかを摘出臓器やリンパ節転移の拡がりを確認して分類する病理病期があります。病理病期は手術で摘出した臓器やリンパ節転移を調べて決定するので、病期の進行具合がよりの確に把握できます。

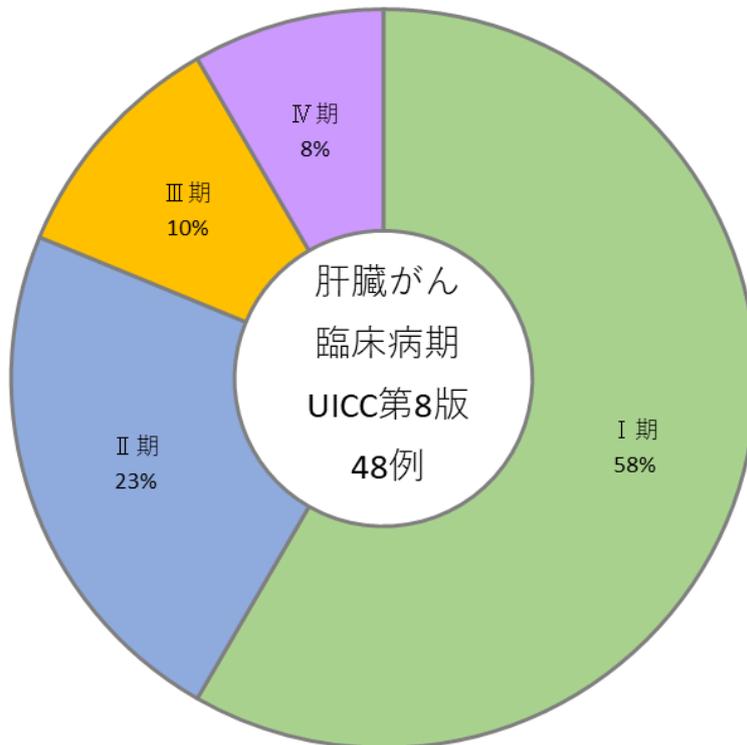
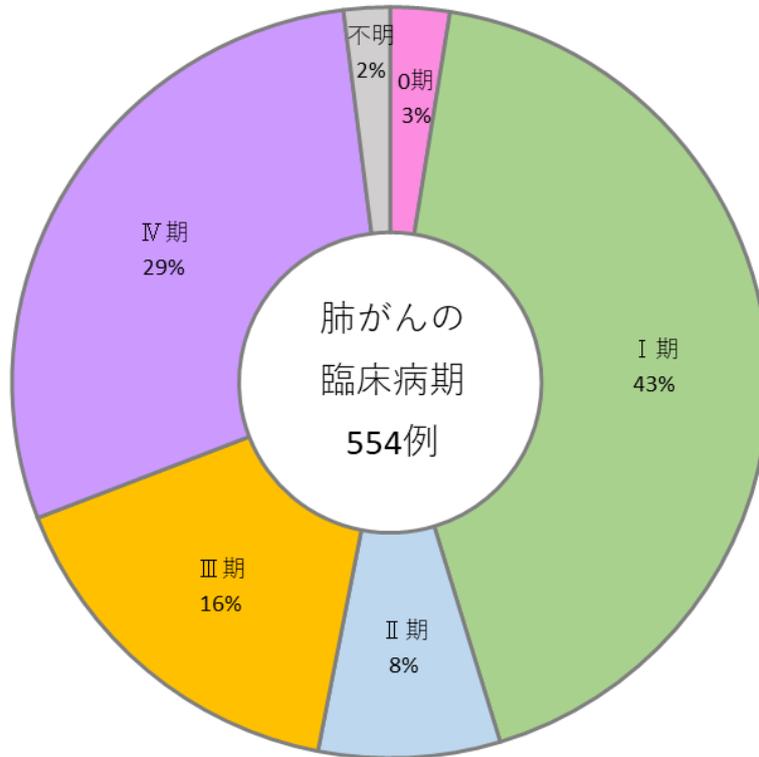
2011年まではUICCのTNM分類第6版を、2012年から2017年まではTNM分類第7版を用いて登録していましたが、2018年からTNM分類第8版を用いています。

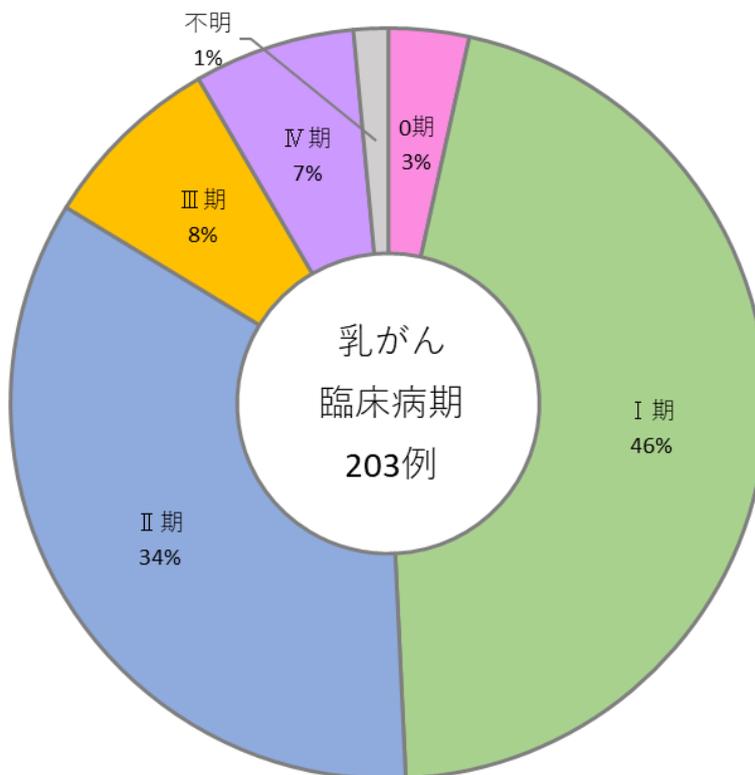
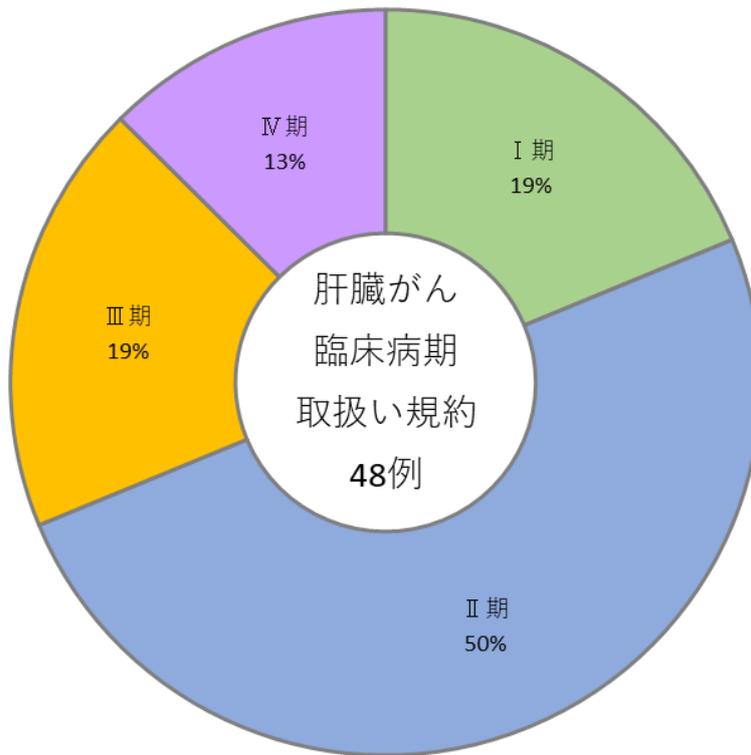
(2) 各種「がん取扱い規約」による病期分類 (ステージ分類)

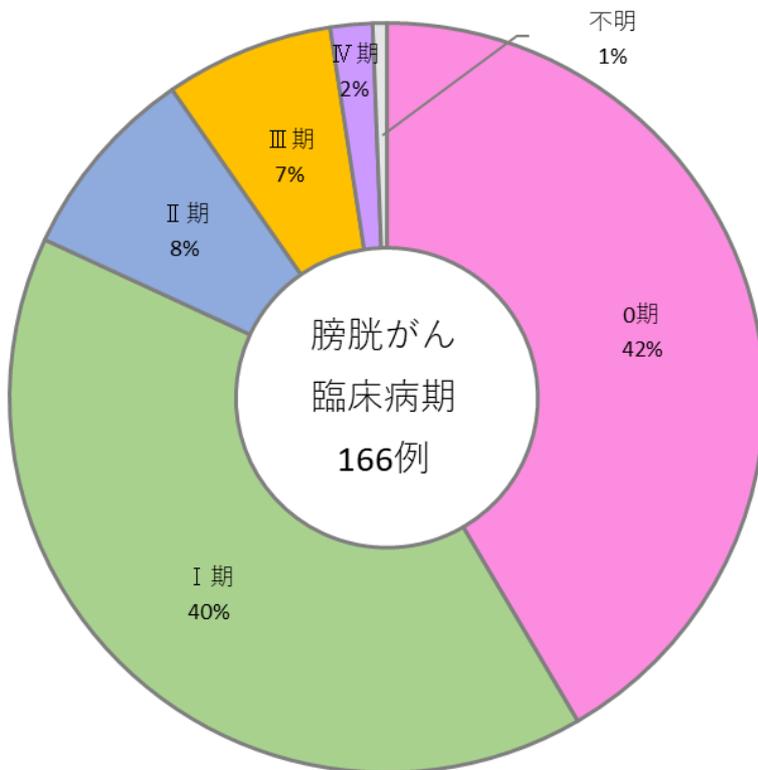
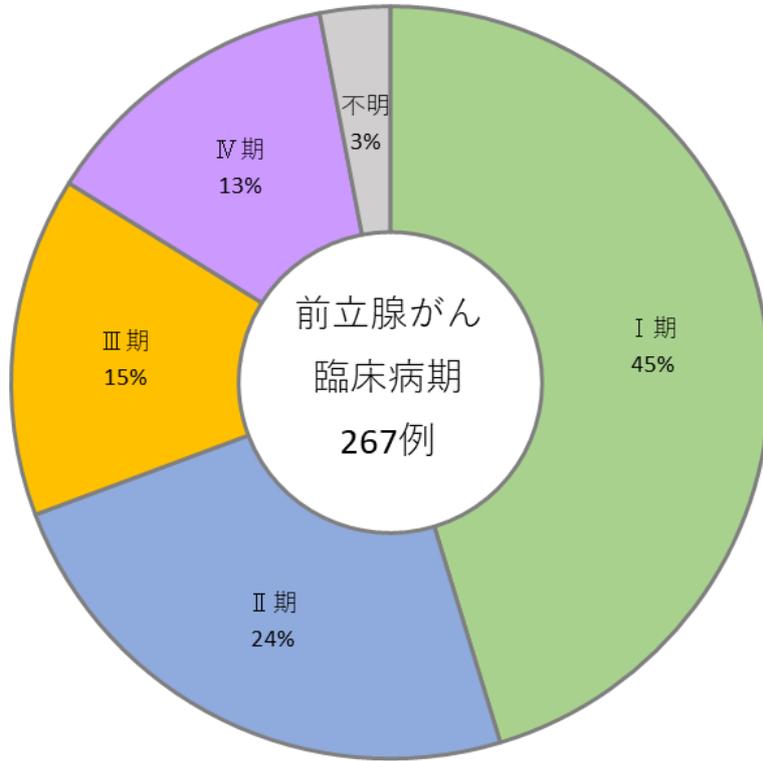
各学会は「がん取扱い規約」によりがんの進行度を定めています。日本独特のものであり、多くの臨床医はこちらを用いています。地域がん診療連携拠点病院でも肝臓がんに関してはUICCのTNM分類とともにこのがん取扱い規約による病期分類も用いています。

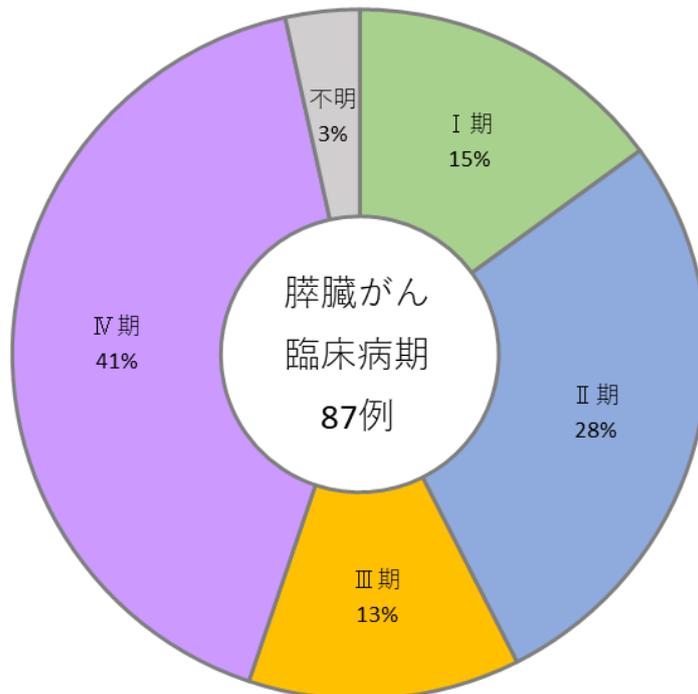
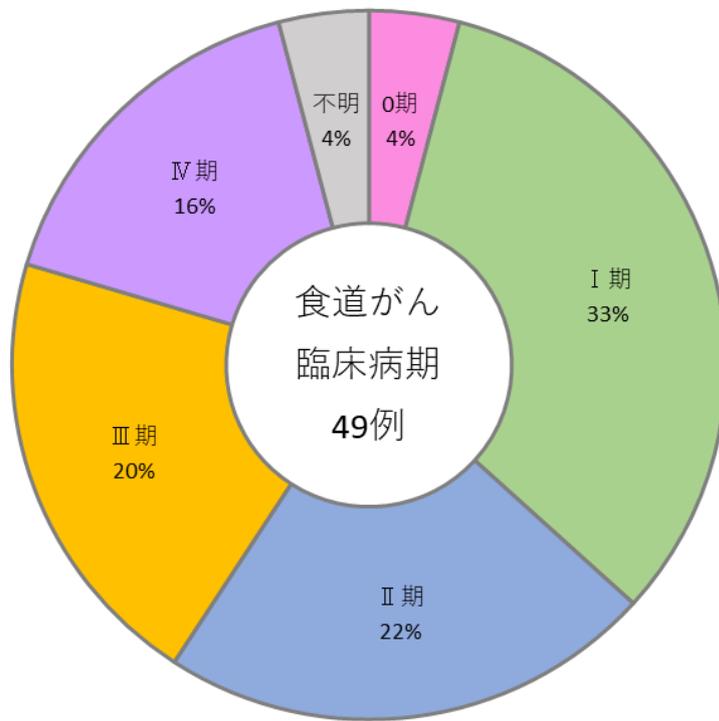
以下に示す臨床病期は、明示していないものはすべてUICCのTNM分類第8版によるものです。

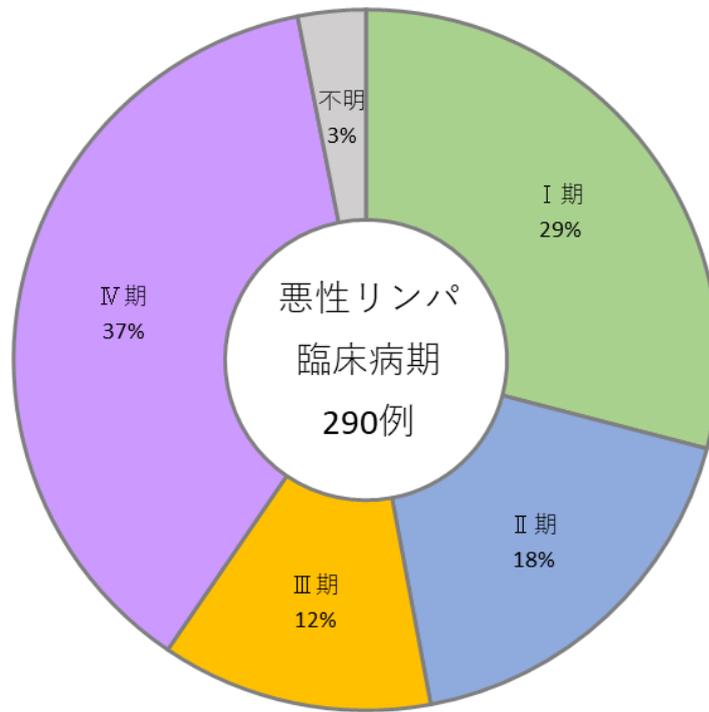




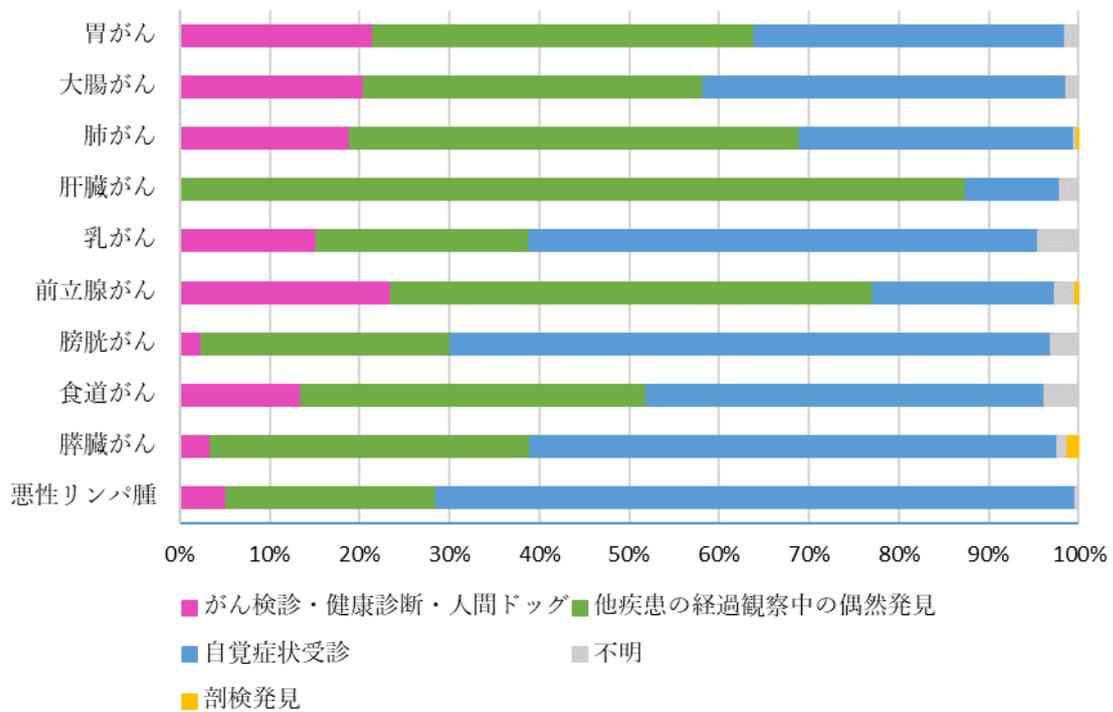








■ 部位別発見経緯の割合



■ 二次保健医療圏別割合

